

東京都教育委員会

授業改善推進拠点校事業 最終報告会

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果を生かした授業改善について

新宿区立戸山小学校の取組事例

1 学力調査等に基づいた自校の課題の分析①

令和4年度 全国学力・学習状況調査 解答状況(国語)

問題番号	令和4年度				令和5年度
	2二	3二	3三イ	3三ウ	3二
無解答率(%)	15.3[13.9]	20.8[17.4]	12.5[13.3]	19.4[18.5]	12.0[18.0]

無解答率 12.5%~20.8%が4問

無解答率 12% 1問

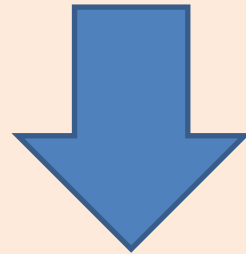
令和5年度 全国学力・学習状況調査 解答状況(国語)

問題番号	学習指導要領の内容/正答率(%)	本校	東京都	全国	
1二	思考力・判断力・表現力等 B 書くこと	30.0	28.9	26.7	正答率 30%
2三	知識及び技能(2) 情報の扱い方に関する事項	58.0	64.8	62.0	全国・東京都より 低い正答率

1 学力調査等に基づいた自校の課題の分析①

全国学力・学習状況調査

- ▼ 「書くこと」の正答率が低い。
- ▼ 「情報の扱い方に関する事項」で全国平均を下回る。

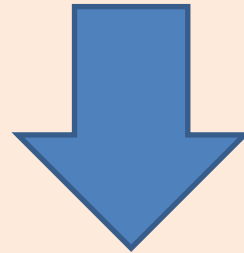


- **問題文を読み、その内容を正確に理解すること。**
- **与えられた情報と情報を関係付けて、文章で適切に表現すること。**

1 学力調査等に基づいた自校の課題の分析②

東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査

- ▼難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組む
- ▼集中して学習に取り組む



- 児童がすすんで自己解決しようとする学習方法
- どの児童も45分間集中できる授業づくり

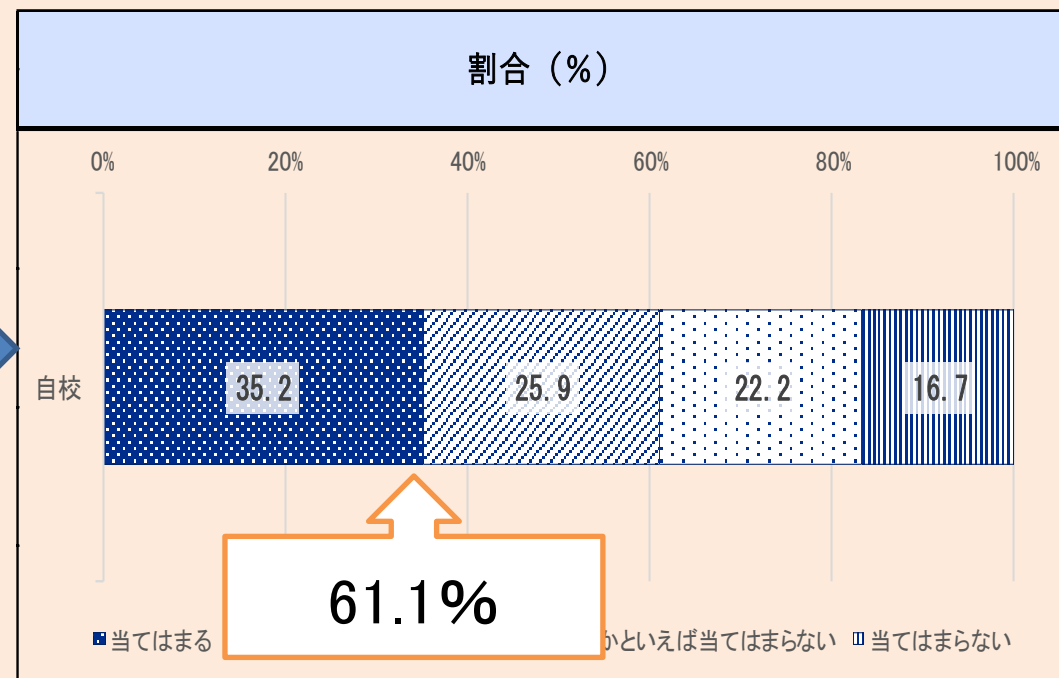
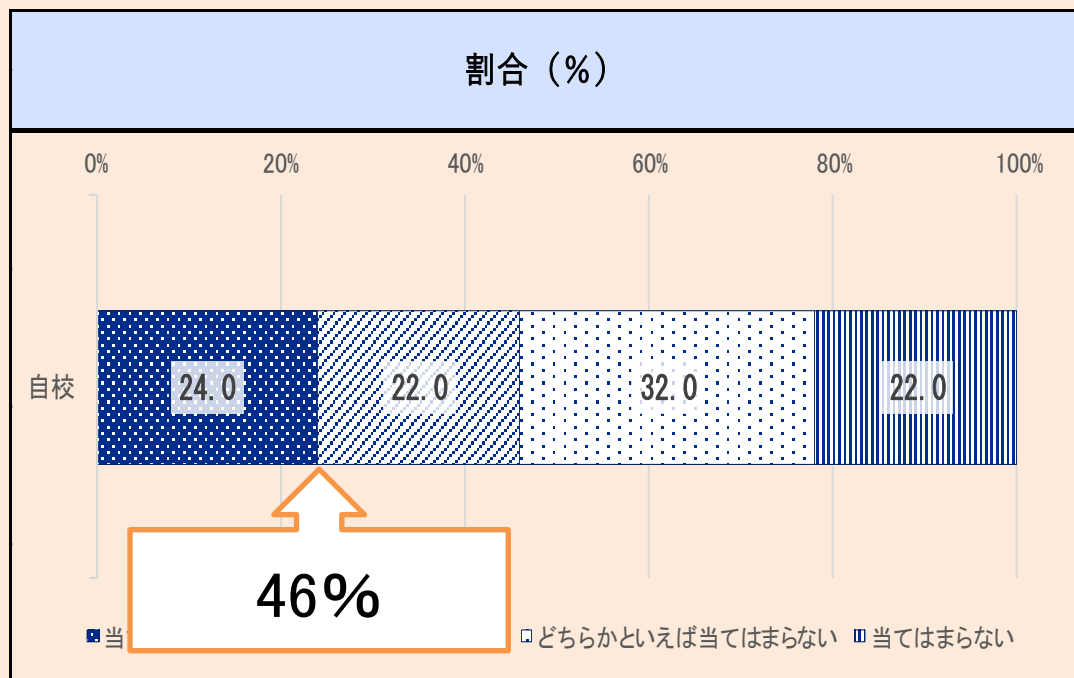
1 学力調査等に基づいた自校の課題の分析③

○辞書引き学習の定着化

4(13)「学習していてわからない言葉があれば、すぐに調べるようにしている」

<R4年度 5年生>

<R5年度 6年生>



2 課題の解決に向けた手だての明確化

国語科における

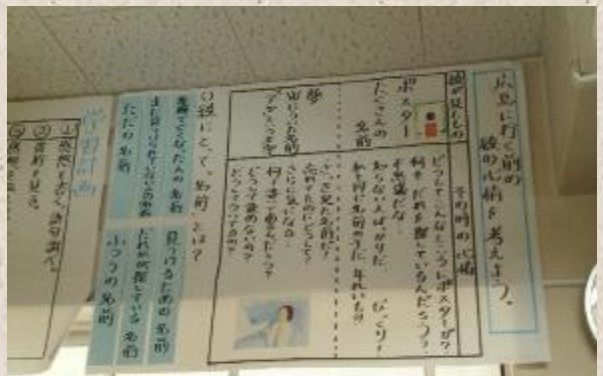
「戸山スタンダード」の定着

～児童全員が45分間集中して取り組める授業を～

- ①児童の意見を基に、単元の学習計画を立てる。
- ②毎時間のめあて・目標を明確に示す。
授業の終わりに、自己評価としての振り返りをさせる。
- ③叙述を基に内容をイメージし、理解する力を身に付けられるようにする。
- ④友達との意見の共有、交流する場として話し合い活動を取り入れる。
- ⑤語彙を習得するための辞書引き学習や、読書活動を定着させる。

3 手だての実践と検証

戸山スタンダード
③ 叙述を基に読む
④ 意見の共有



写真資料の提示

学習履歴の掲示



友達と共有



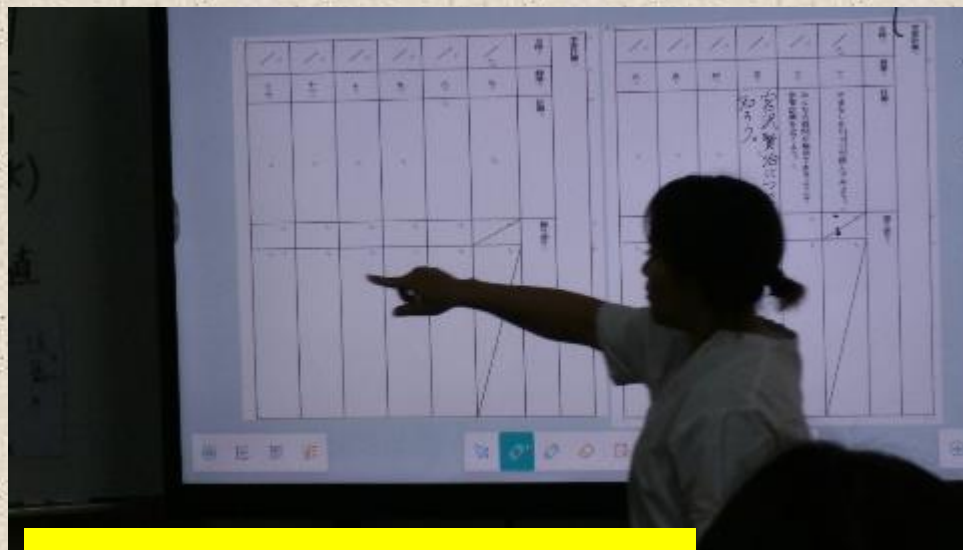
3 手だての実践と検証

戸山スタンダード

①児童の意見を基に 学習計画を立てる



気になる言葉を辞書で引く



友達と感想を共有



全体で共有

3 手だての実践と検証

戸山スタンダード② 毎時間の振り返り



電子紙芝居



振り返りの視点



3 手だての実践と検証



組織的なOJT

主任・主幹教諭による**教員向けの校内研修**



4 成果と課題

○成果

○分析に基づいた課題把握

○戸山スタンダードの確立と定着

▼課題

▼文章量、話し合い活動を見越した時間設定

▼振り返りの観点の精選

東京都教育委員会

授業改善推進拠点校事業 最終報告会

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果を生かした授業改善について

新宿区立戸山小学校の取組事例